

# 第4期神戸市教育振興基本計画（素案）について（報告）

## I 概要

### 1 策定の趣旨

少子高齢化や人口減少、共働き世帯の増加、急速な技術革新の進展やグローバル化など、社会状況の変化はますます激しさを増すとともに、いじめや不登校、特別な支援を要する児童生徒、外国人児童生徒の増加など、学校を取り巻く状況も大きく変化している。

また、教職員の多忙化・教職員のなり手不足は、本市においても大きな課題であり、子供たちに質の高い教育を提供していくためには、働き方改革を一層進め、教職員が子供たちと向き合い、寄り添うための時間を確保していく必要がある。

こうした現状や課題、国や社会の動向等を踏まえ、今後5年間、神戸の教育が目指すべき方向性を明らかにするため、第4期神戸市教育振興基本計画を策定する。

### 2 計画期間

令和6（2024）年度から令和10（2028）年度

### 3 計画の位置付け

本計画は、教育基本法第17条第2項に基づく「地方公共団体の定める教育の振興のための施策に関する基本的な計画」であり、市政の総合計画である「神戸市総合基本計画」の部門別計画

## II 計画内容

### 1 目指す人間像 「心豊かに たくましく生きる人間」

本計画においても引き続き「心豊かに たくましく生きる人間」を神戸の教育が目指す人間像として掲げる。

### 2 教育ビジョン 「自他を大切に 自ら考え 未来をつくる」

変化が激しく予測困難なこれからの時代において、今後5年間、どのような教育を行い、どのような力を育てていくのか、学校関係者だけでなく、保護者をはじめ市民の皆様と共有し、ともに神戸の教育を進めていくため、新たに教育ビジョンを策定した。

自他を大切にし、多様な仲間とつながり、支え合い、対話を重ねる経験を通じ、自律心や社会性、協調性を育むとともに、子供たち一人ひとりのよさや個性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、主体的に行動し、未来の創り手となれるよう、教育の充実に取り組む。

### 3 基本政策

教育ビジョン「自他を大切に 自ら考え 未来をつくる」を実現するため、5つの基本政策を定める。また、基本政策を推進するため、今後、5年間において特に重点的に取り組む施策を掲げる。具体的な事業については、各年度の実施状況を踏まえ展開していく。

## 基本政策 1 / 子供が主役のこれからの学び

### <重点施策>

- ・ 自他を尊重し、命を大切にすする心の育成
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・ 社会とつながる探究的な学びの充実
- ・ 英語の実践的なコミュニケーション能力向上及び異文化等の理解
- ・ 主体的に運動やスポーツに親しむ機会の拡充
- ・ 体験学習や芸術文化活動の充実
- ・ 想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進
- ・ 神戸ならではの防災教育の推進
- ・ AI 等の技術や情報を適正に活用する力の育成
- ・ 全日制高等学校の特色化・魅力化と定時制教育の充実
- ・ 幼児教育の充実と幼保小の円滑な学びの接続

## 基本政策 2 / 一人ひとりに応じたきめ細かな支援

### <重点施策>

- ・ 多様な学びの場の確保等による不登校支援の充実
- ・ いじめ未然防止学習の推進
- ・ 組織的な対応によるいじめの早期発見・対応
- ・ 障害に応じた特別支援教育の充実
- ・ 外国人児童生徒等に対する支援の拡充
- ・ 専門人材や関係機関との連携の強化
- ・ 児童生徒・保護者向けの分かりやすい教育相談窓口の充実

## 基本政策 3 / 安全・安心で過ごしやすい環境づくり

### <重点施策>

- ・ 自律心や自己肯定感を育む子供が主体の学校づくりの推進
- ・ 学校給食の魅力化と食育の推進
- ・ 学校施設の安全・安心確保と機能向上
- ・ ICT 学習環境の充実と教育データの利活用に向けた環境づくり
- ・ 学校規模の適正化による教育環境の向上
- ・ 通学路の安全対策の推進

## 基本政策4 / 子供に向き合い寄り添える学校づくり

### <重点施策>

- ・教職員の計画的採用と臨時的任用教員等の安定的な確保
- ・学校園の組織力を高める適材適所の人事配置の推進
- ・教職員の資質向上とキャリア形成
- ・教職員のメンタルヘルス対策の充実
- ・学校の業務と活動の見つめ直し等による働き方改革の推進
- ・校務DXの推進や外部人材の活用
- ・学年（チーム）担任制の推進

## 基本政策5 / 地域とともにつくる開かれた学校

### <重点施策>

- ・コミュニティ・スクールの推進による地域との連携・協力活動の活性化
- ・スポーツ・芸術文化・市民福祉活動等の推進に向けた学校施設の更なる有効活用
- ・企業・団体・地域等との連携・協働による多様な学びの提供
- ・中学校部活動の地域移行
- ・社会教育施設等を活用した豊かな学びの充実
- ・市長部局や大学等との連携による放課後の子供の居場所づくり
- ・神戸の教育の効果的な情報発信

## Ⅲ 計画の進捗管理

本計画においては、「全国学力・学習状況調査」、「英語教育の実施状況調査」、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」等をはじめ、関連する調査結果等を参考指標として設定し、適時、効果を把握するとともに、状況の変化に応じて、柔軟に施策の見直しを図り、計画を推進していく。

## Ⅳ 今後の予定

- ・ 1月29日～2月27日：市民意見募集の実施
- ・ 3月上旬：第3回「これからの神戸の学校教育に関する有識者会議」の開催
- ・ 3月中旬：市民意見等を踏まえた計画（案）の報告
- ・ 3月下旬：計画の策定

## 第4期 神戸市教育振興基本計画（素案）

～自他を大切に 自ら考え 未来をつくる～

神戸市教育委員会

# Ⅰ 概要

## 1 策定の趣旨

少子高齢化や人口減少、共働き世帯の増加、急速な技術革新の進展やグローバル化など、社会状況の変化はますます激しさを増すとともに、いじめや不登校、特別な支援を要する児童生徒、外国人児童生徒の増加など、学校を取り巻く状況も大きく変化しています。

また、教職員の多忙化・教職員のなり手不足は、本市においても大きな課題であり、子供たちに質の高い教育を提供していくためには、働き方改革を一層進め、教職員が子供たちと向き合い、寄り添うための時間を確保していく必要があります。

こうした現状や課題、国や社会の動向等を踏まえ、今後5年間、神戸の教育が目指すべき方向性を明らかにするため、第4期神戸市教育振興基本計画を策定します。

本計画の策定にあたっては、学識経験者や有識者、保護者、地域関係者の参画による「これからの神戸の学校教育に関する有識者会議」や、児童生徒・保護者アンケートにおいて、様々なご意見をいただき検討を重ねました。

神戸市教育大綱及び第3期神戸市教育振興基本計画のもとで進めてきた取組みをさらに発展させ、保護者をはじめ市民の皆様と手を携え、神戸の教育を推進していきます。

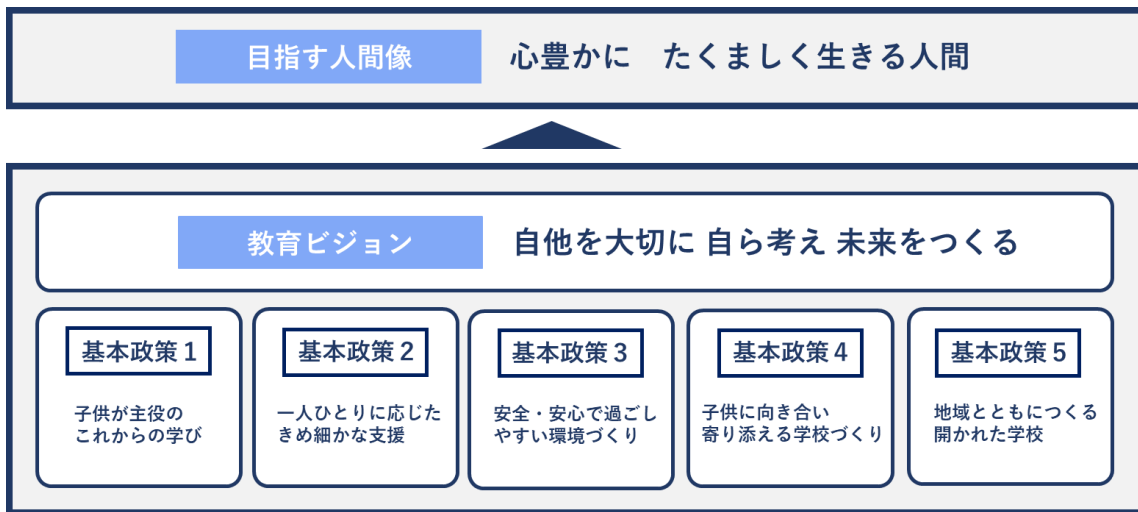
## 2 計画期間

令和6（2024）年度から令和10（2028）年度

## 3 計画の位置付け

本計画は、教育基本法第17条第2項に基づく「地方公共団体の定める教育の振興のための施策に関する基本的な計画」であり、市政の総合計画である「神戸市総合基本計画」の部門別計画です。

## II 計画内容



### 1 目指す人間像

#### 心豊かに たくましく生きる人間

次代を担う子供が、よりよい社会と幸福な人生を自ら作り出していくためには、自他を尊重し、互いに知恵を出し合って困難な課題を解決していくことが重要です。

それには、確かな学力、健康・体力とともに、様々な体験を通して豊かな人間性を養い、自ら目標に向かってたくましく生きる力を育む必要があります。

これらを踏まえ、本計画においても引き続き「心豊かに たくましく生きる人間」を神戸の教育が目指す人間像として掲げます。

### 2 教育ビジョン

#### 自他を大切に 自ら考え 未来をつくる

変化が激しく予測困難なこれからの時代において、今後5年間、どのような教育を行い、どのような力を育てていくのか、学校関係者だけでなく、保護者をはじめ市民の皆様と共有し、ともに神戸の教育を進めていくため、新たに教育ビジョンを策定しました。

自他を大切にし、多様な仲間とつながり、支え合い、対話を重ねる経験を通じ、自律心や社会性、協調性を育むとともに、子供たち一人ひとりのよさや個性を伸ばし、自ら学び、自ら考え、主体的に行動し、未来の創り手となれるよう、教育の充実に取り組みます。

### 3 基本政策

教育ビジョン「自他を大切に 自ら考え 未来をつくる」を実現するため、5つの基本政策を定めます。また、基本政策を推進するため、今後、5年間において特に重点的に取り組む施策を示します。具体的な事業については、各年度の実施状況を踏まえ展開していきます。

#### 基本政策 1 / 子供が主役のこれからの学び

主体的・対話的で深い学びや体験活動等を通して、「生きる力」の基盤となる、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育み、子供たちの個性を生かし、よさを伸ばします。そのうえで、これからの時代において必要となる、問題発見・課題解決能力や創造力、コミュニケーション能力、ICTの適正な利活用による情報活用能力を育むとともに、異文化や多様な背景を持つ人々への理解を深めます。

##### <重点施策>

- ・ 自他を尊重し、命を大切に作る心の育成
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・ 社会とつながる探究的な学びの充実
- ・ 英語の実践的なコミュニケーション能力向上及び異文化等の理解
- ・ 主体的に運動やスポーツに親しむ機会の拡充
- ・ 体験学習や芸術文化活動の充実
- ・ 想像力、思考力、表現力等を養う読書活動の推進
- ・ 神戸ならではの防災教育の推進
- ・ AI等の技術や情報を適正に活用する力の育成
- ・ 全日制高等学校の特色化・魅力化と定時制教育の充実
- ・ 幼児教育の充実と幼保小の円滑な学びの接続

#### 基本政策 2 / 一人ひとりに応じたきめ細かな支援

いじめや不登校、特別な支援を要する児童生徒等が増加する中、子供たちが生き生きと学校生活を送れるよう、「行きたくなる学校づくり」を進めます。

また、多様な教育ニーズに対してきめ細かな支援を行うことで、誰一人取り残さない学びを保障し、子供たち一人ひとりの可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育を推進します。

##### <重点施策>

- ・ 多様な学びの場の確保等による不登校支援の充実
- ・ いじめ未然防止学習の推進
- ・ 組織的な対応によるいじめの早期発見・対応
- ・ 障害に応じた特別支援教育の充実

- ・外国人児童生徒等に対する支援の拡充
- ・専門人材や関係機関との連携の強化
- ・児童生徒・保護者向けの分かりやすい教育相談窓口の充実

### 基本政策 3 / 安全・安心で過ごしやすい環境づくり

子供たちが学びたくなる教育環境を整えるとともに、様々な背景を持つ子供を含め、誰もが安全・安心で快適な学校生活を送ることができる環境づくりを推進します。

また、子供たちの学習能力・情報活用能力の向上のため、オンライン学習等を進める基盤となる ICT 学習環境の更なる充実を図ります。

#### <重点施策>

- ・自律心や自己肯定感を育む子供が主体の学校づくりの推進
- ・学校給食の魅力化と食育の推進
- ・学校施設の安全・安心確保と機能向上
- ・ICT 学習環境の充実と教育データの利活用に向けた環境づくり
- ・学校規模の適正化による教育環境の向上
- ・通学路の安全対策の推進

### 基本政策 4 / 子供に向き合い寄り添える学校づくり

教職員が心身ともに健康で生き生きとした姿で子供たちと向き合い、一人ひとりに寄り添える教育環境をつくり、真に必要な教育活動に力を注いでいけるよう、実効性のある働き方改革を推進します。

また、学校の組織力の更なる向上を図ることで教育全体の質を高め、子供たちの健やかな成長に繋がります。

#### <重点施策>

- ・教職員の計画的採用と臨時的任用教員等の安定的な確保
- ・学校園の組織力を高める適材適所の人事配置の推進
- ・教職員の資質向上とキャリア形成
- ・教職員のメンタルヘルス対策の充実
- ・学校の業務と活動の見つめ直し等による働き方改革の推進
- ・校務 DX の推進や外部人材の活用
- ・学年（チーム）担任制の推進



## 基本政策5 / 地域とともに作る開かれた学校

保護者や地域、企業等との積極的な連携により、一体となって子供たちの学びの充実や教育課題の解決を図るとともに、学校施設は市民の貴重な財産であり、地域活動等の拠点であるという認識のもと、地域とともに作る開かれた学校を実現します。

また、市長部局との連携のもと、一人ひとりが生涯にわたって学べる環境をつくとともに、神戸の教育について効果的に情報発信し、「選ばれるまち」を目指します。

### <重点施策>

- ・コミュニティ・スクールの推進による地域との連携・協力活動の活性化
- ・スポーツ・芸術文化・市民福祉活動等の推進に向けた学校施設の更なる有効活用
- ・企業・団体・地域等との連携・協働による多様な学びの提供
- ・中学校部活動の地域移行
- ・社会教育施設等を活用した豊かな学びの充実
- ・市長部局や大学等との連携による放課後の子供の居場所づくり
- ・神戸の教育の効果的な情報発信

### 【参考】学校づくりの指針「人がつながり ともに創る みんなの学校」について

これからの時代において、複雑化・多様化する教育課題に適切に対応し、一人ひとりの子供に寄り添った質の高い教育を提供するためには、学校、保護者、地域の皆様、それぞれが多様な知識や経験を持ち寄り、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていく必要があります。

本市では、学校づくりの指針として「人がつながり ともに創る みんなの学校」を定め、子供たちを中心に据えて、保護者、地域の皆様と連帯感をもって教育活動に取り組む学校づくりを進めています。

本計画においても、学校づくりの指針のもと、人と人とのつながりの輪の中で子供たちの生きる力を育んでいくよう、取組みをさらに推進していきます。

### III 計画の進捗管理

本計画においては、以下の指標を参考指標として設定し、適時、効果を把握するとともに、状況の変化に応じて、柔軟に施策の見直しを図り、計画を推進していきます。

#### ■全国学力・学習状況調査（基本政策1 関連）

- ・各教科の平均正答率
- ・授業の内容がよくわかると思う児童生徒の割合
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ児童生徒の割合
- ・「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合
- ・読書が好きな児童生徒の割合

#### ■英語教育の実施状況調査（基本政策1 関連）

- ・中学校卒業段階でCEFR\*のA1 レベル相当の英語力を有する生徒の割合

#### ■全国体力・運動能力、運動習慣等調査（基本政策1 関連）

- ・体力合計点の平均値
- ・実技調査項目の平均値
- ・運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合

#### ■防災教育に関する実態調査（基本政策1、5 関連）

- ・地域と連携した防災教育の取組等の状況

#### ■ICT 機器の活用度調査（基本政策1～3 関連）

- ・授業でのPC・タブレットなどICT 機器の活用度

#### ■特別支援教育の推進（基本政策2、3 関連）

- ・自校通級指導教室の設置
- ・特別支援教育の専門的知識を有する教職員の割合

#### ■学校のルール等の見直し状況調査（基本政策3 関連）

- ・学校のルール等の見直し状況、子供への意見聴取の状況

#### ■働き方改革の推進（基本政策4 関連）

- ・教職員の勤務時間外在校時間
- ・教職員の育児休業取得率

#### ■コミュニティ・スクールの更なる推進（基本政策5 関連）

- ・地域と保護者との連携・協力活動状況

---

\*CEFR（セファール）：英語をはじめ外国語の運用能力を同一の基準で測る国際標準。

CEFR A1 レベルは英検3級相当。

## 【参考資料】児童生徒・保護者アンケート

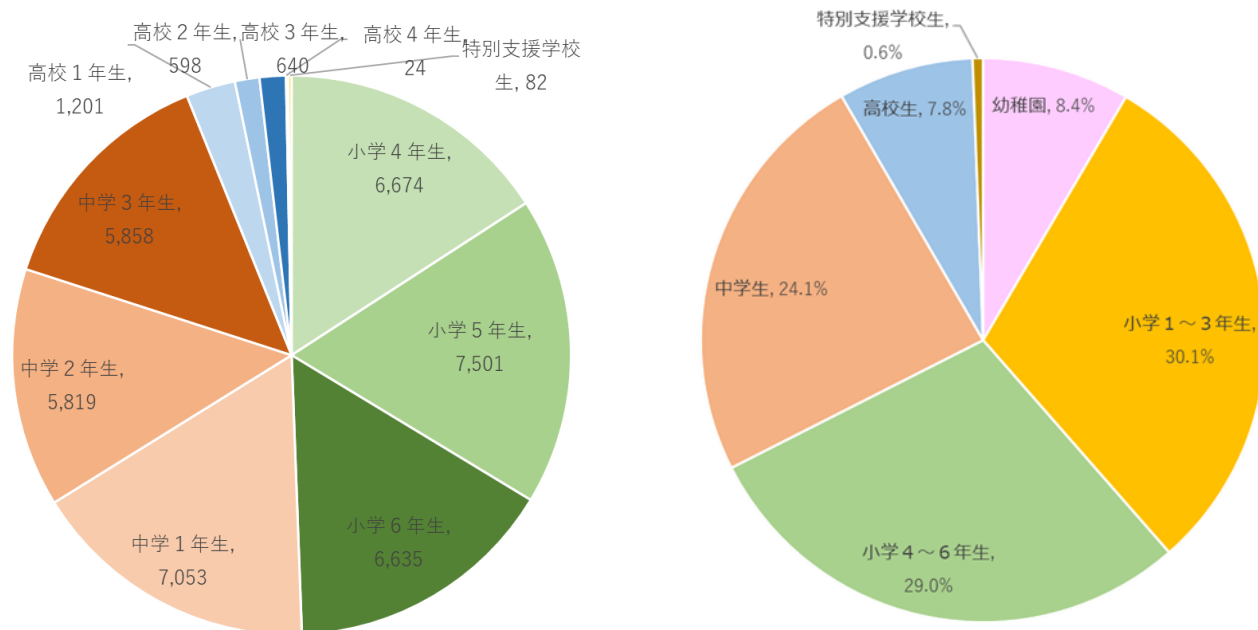
教育の当事者である子供たちや、保護者の皆様の多様な意見を参考とするため、2023年11月にアンケートを実施し、大変多くの回答をいただきました。

■対象：神戸市立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校で学ぶ児童生徒（※小学4年生以上）、及び保護者

■実施期間：2023年11月1日～11月30日

■設問：1. 学年（選択）  
2. 居住区（選択）  
3. 学校にのぞむこと、期待すること（※16項目から3項目を選択）  
4. 3でなぜその項目を選んだか、または学校や教育をよくするためのアイデアなど（※自由記述）

■回答数：児童生徒 42,114名、保護者 26,017名

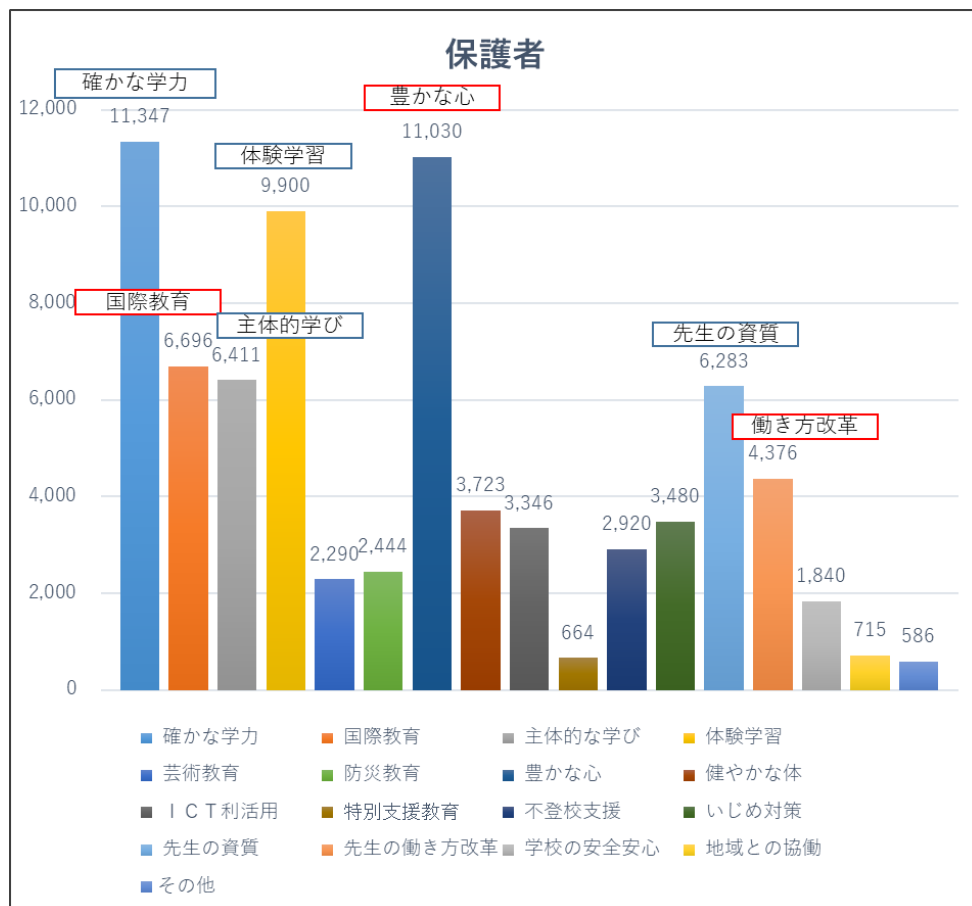
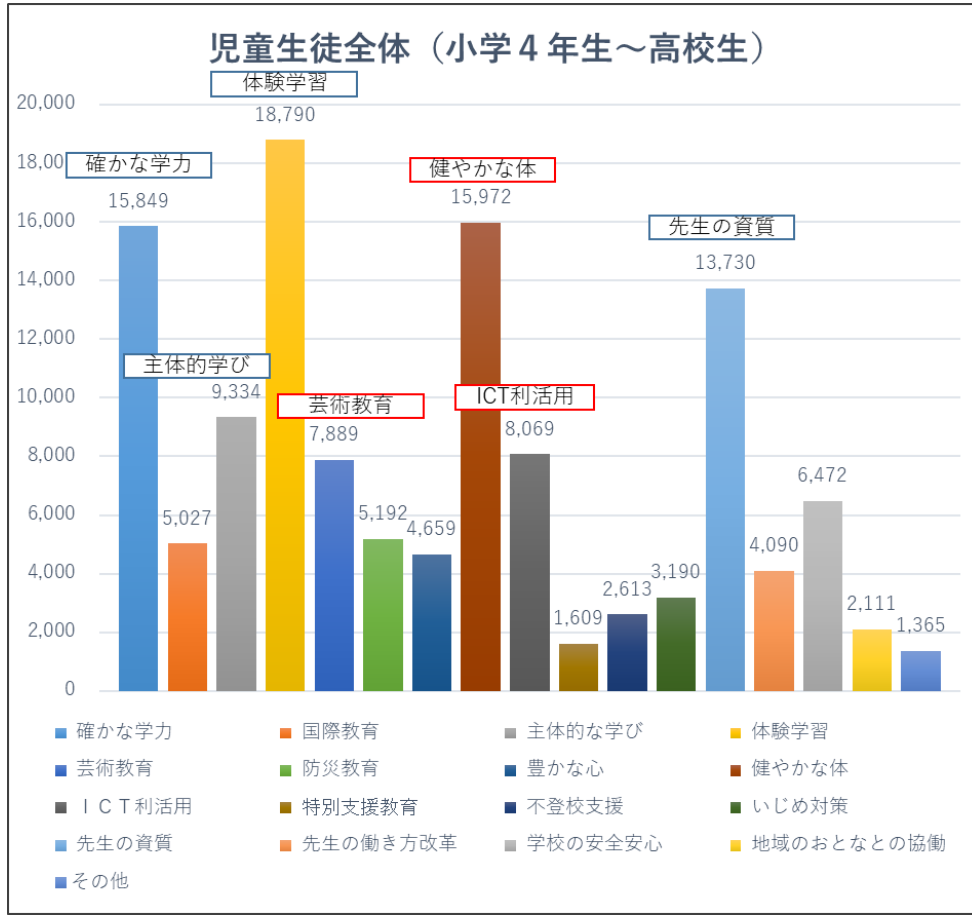


※複数の子供がいる保護者もあるため、割合で示しています。  
兄弟姉妹が市立学校園以外に在籍している場合も含まれます。

■学校種別の回答率

学校種別	小学4～6年生	中学生	高校生	特別支援学校生
回答率	57.4%	55.3%	43.0%	7.6%

■「学校にのぞむこと、期待すること」の上位7項目



## 【参考資料】これからの神戸の学校教育に関する有識者会議

本計画の策定にあたって、学識経験者や有識者、保護者、地域関係者の参画による「これからの神戸の学校教育に関する有識者会議」を開催し、それぞれの立場から幅広いご意見をいただきました。

### ■委員名簿

(敬称略、50音順)

井川 一裕	教育監理役、弁護士
岡本 勝利	神戸市自治会連絡協議会会長
川上 泰彦	兵庫教育大学大学院 学校教育研究科（教職大学院）教授
北原 香奈	舞多聞小学校 学校運営協議会委員
齋藤 勝洋	神戸市PTA協議会会長
佐古 秀一	教育監理役、鳴門教育大学長
末永 訓隆	向洋中学校 学校運営協議会会長
前田 恵	井吹の丘小学校 学校運営協議会委員
森田 祐子	神戸市婦人団体協議会副会長
和田 孫博	教育監理役、学校法人灘育英会理事・灘中学校灘高等学校参与

### ■会議の開催経過

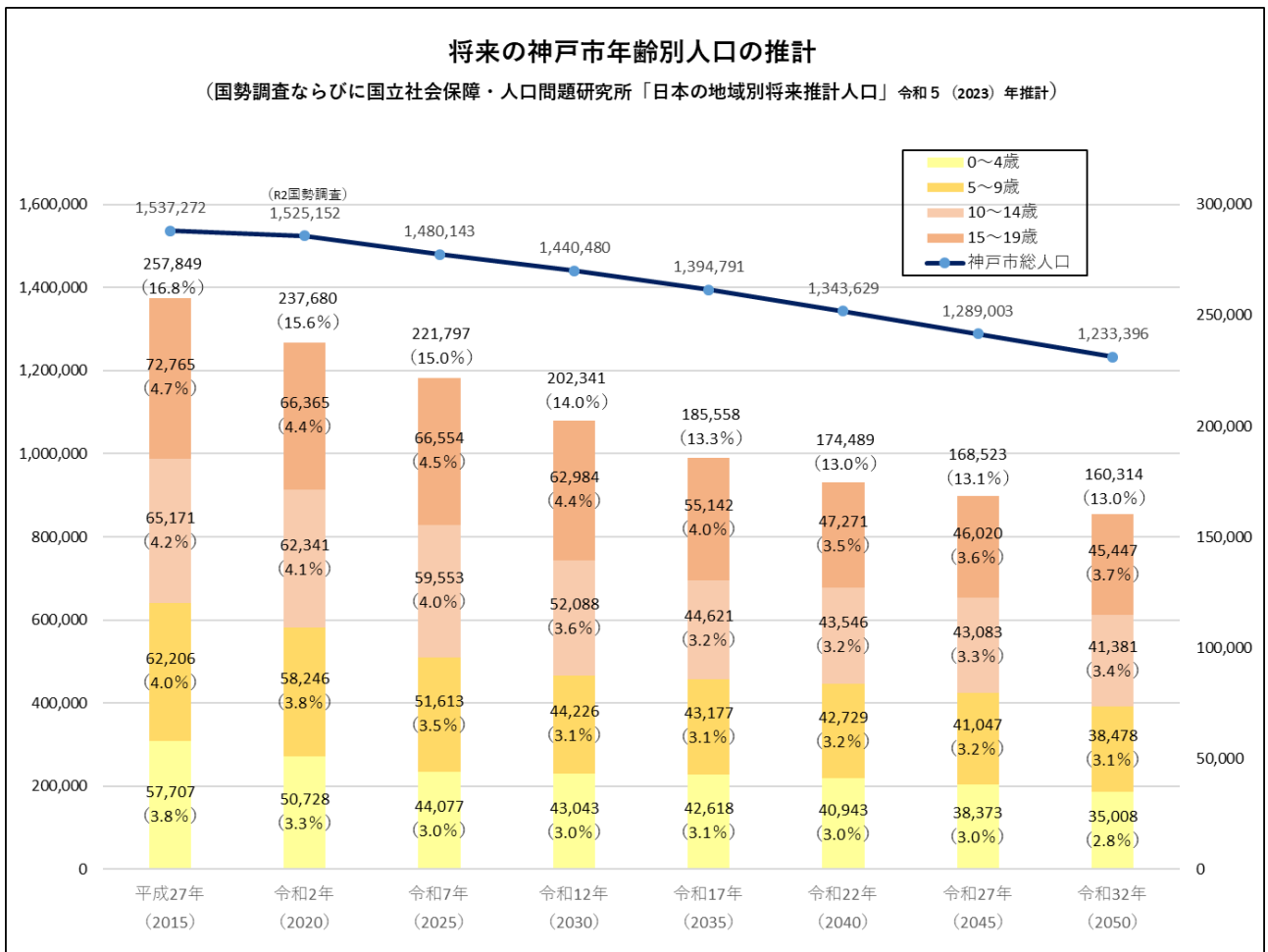
	開催日	主な議事
第1回	2023年11月14日	第4期神戸市教育振興基本計画策定の方向性について
第2回	2023年12月25日	教育ビジョン、基本政策等について
第3回	2024年3月上旬予定	第4期神戸市教育振興基本計画（案）について

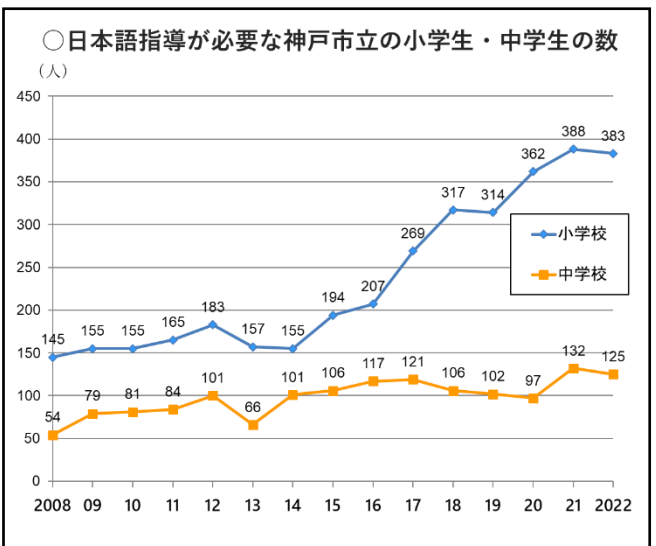
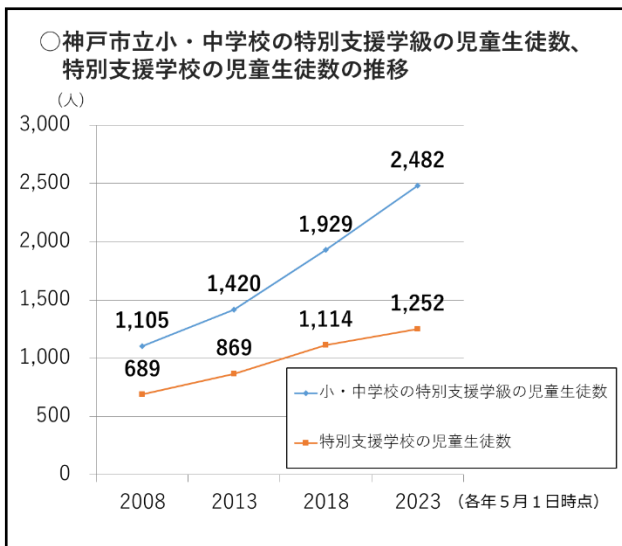
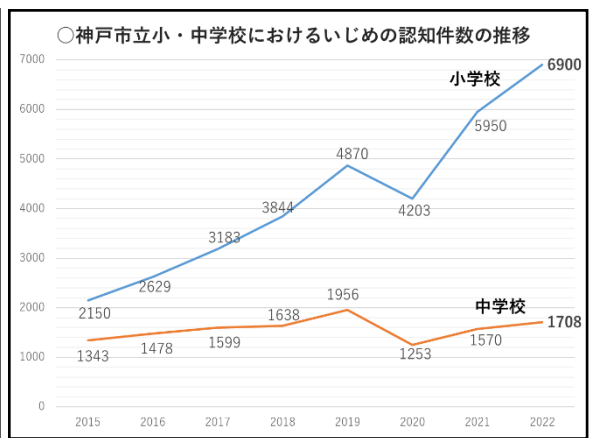
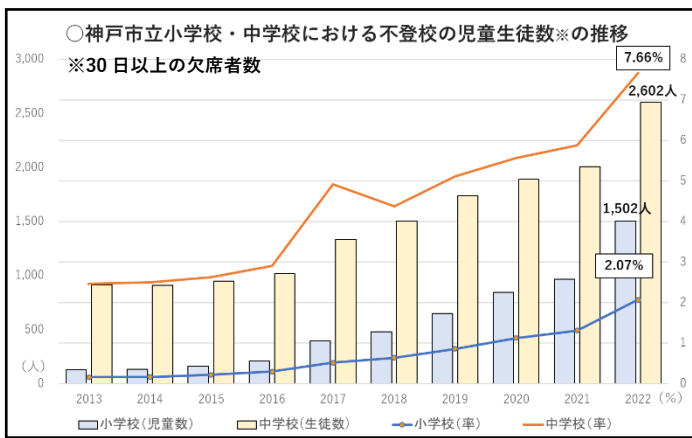
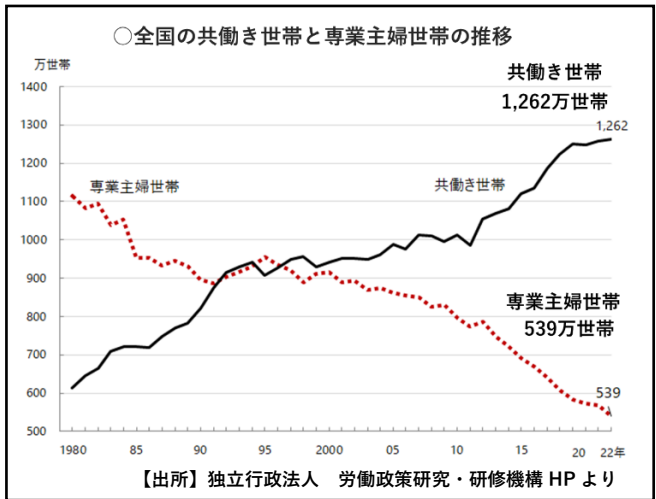
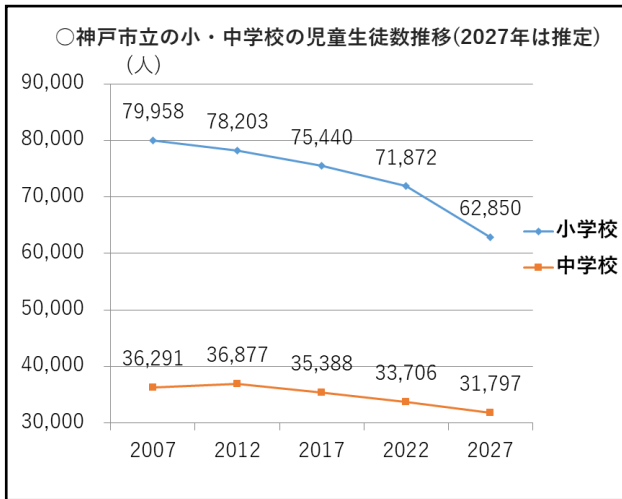
【参考資料】関連データ

【神戸市立の学校数、児童生徒数、教員数、教員以外の常勤職員数】

2023年5月1日時点

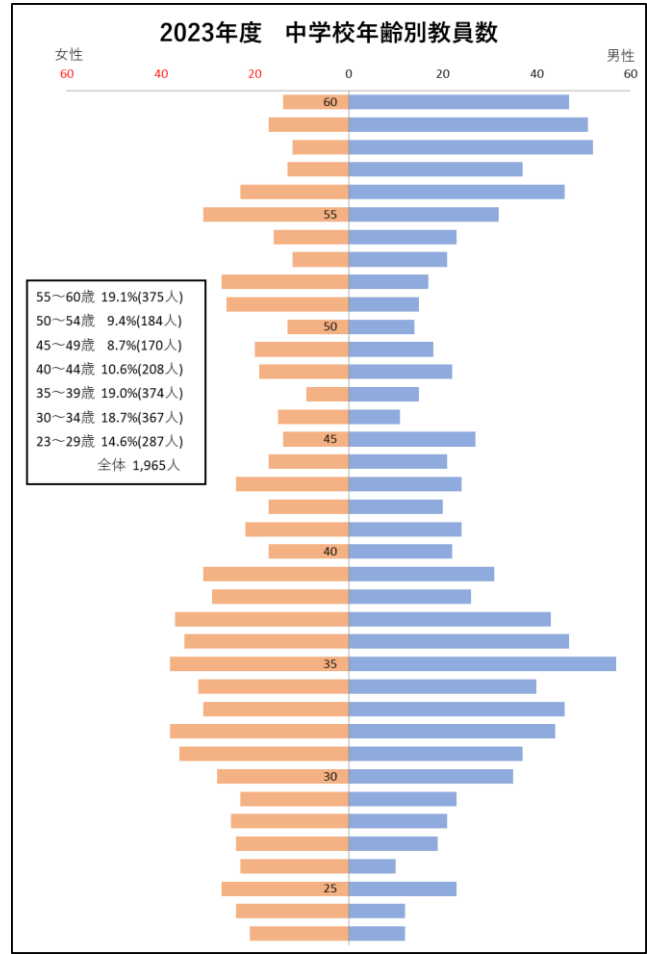
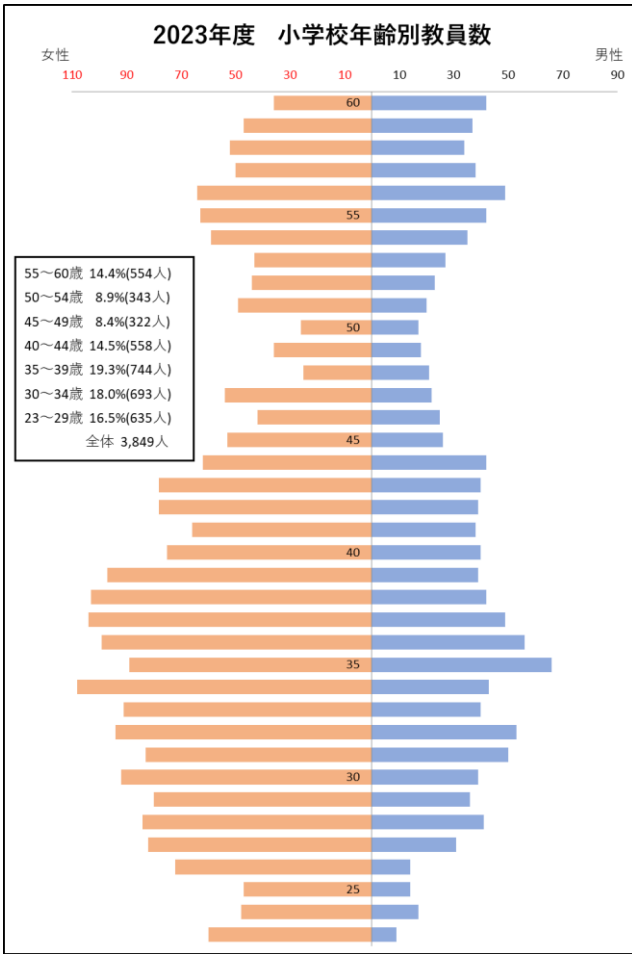
区分	学校数			児童生徒数等			教員数						教員以外の常勤職員数			
	計	本校	分校	計	男	女	計	常勤			非常勤			計	男	女
								小計	男	女	小計	男	女			
合計	293	289	4	112,918	58,035	54,883	9,698	8,439	3,558	4,881	1,259	526	733	909	425	484
幼稚園	32	32		1,023	528	495	222	213	9	204	9	3	6	1	1	0
小学校	162	161	1	70,370	36,115	34,255	5,153	4,439	1,544	2,895	714	227	487	591	276	315
中学校	83	80	3	33,632	17,174	16,458	2,683	2,359	1,316	1,043	324	174	150	171	86	85
義務教育学校	2	2		914	484	430	122	87	34	53	35	16	19	10	2	8
高校(全日制)	5	5		4,951	2,446	2,505	529	451	298	153	78	50	28	36	14	22
高校(定時制)	3	3		776	467	309	185	116	88	28	69	45	24	11	8	3
特別支援学校	6	6		1,252	821	431	804	774	269	505	30	11	19	89	38	51





【神戸市立小学校・中学校の年齢別教員数※】

2023年4月1日時点



※臨時的任用教員を除く常勤の教員

【教員採用試験の受験者数・採用者数・採用倍率の推移】

